

2024年度 第1四半期

決算資料

Consolidated Financial Results

2024年8月8日

株式会社 **TBS** ホールディングス

目次

—

2024年度 第1四半期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境などの変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

◇お問い合わせ先

〒107-8006

東京都港区赤坂5丁目3番6号 Tel : 03-3746-1111 (代表)

株式会社TBSホールディングス 総務局コーポレート業務推進部IR室

HP : <https://www.tbsholdings.co.jp/ir/>

▶ 2024年度 第1四半期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

2024年度 第1四半期決算

- 連結全体では、増収、営業減益、経常減益。
親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の増加などにより、増益。
第1四半期の売上高としては、過去最高を更新。
- メディア・コンテンツ事業は、放送収入や配信広告収入が前年を上回ったものの、前年大きく売上に貢献した海外配信や映画、DVD販売などの反動により、減収減益。
- ライフスタイル事業は、スタイリングライフグループの化粧品、暑さ対策商材などの伸長に加え、2023年6月に連結したやる気スイッチグループの増加により、増収。
一方、やる気スイッチグループでの人件費や広告宣伝費の増加に加え、のれんなどの償却費の増加により、減益。
- 不動産・その他事業は、賃料収入の増加などにより増収も、減価償却費や全社費用の増加などにより、減益。

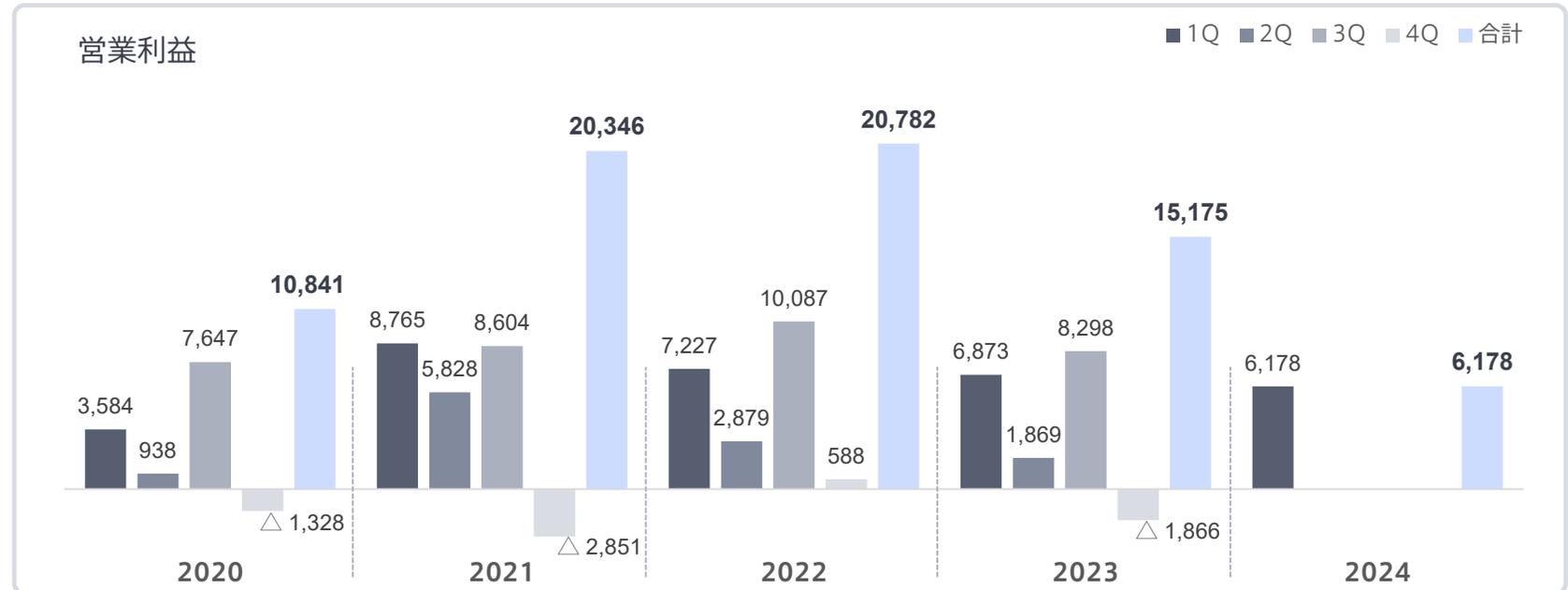
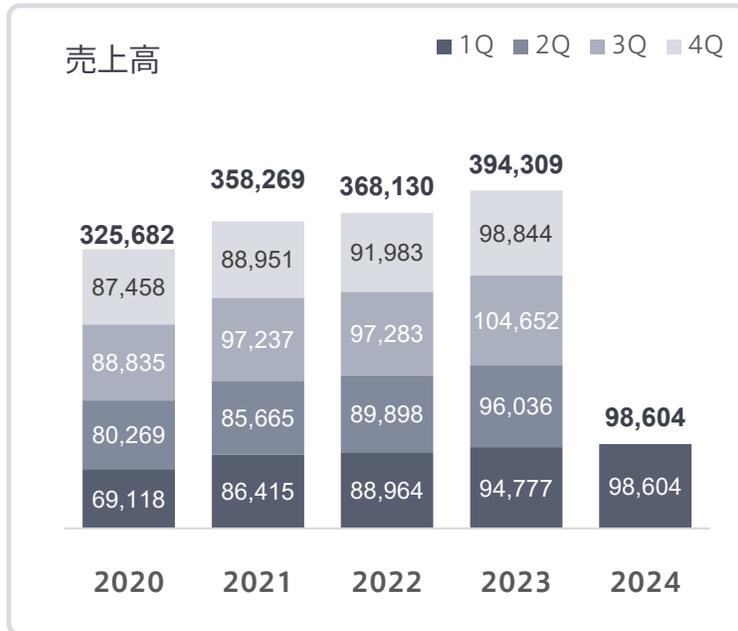
2024年度 業績見通し

- 第1四半期での業績予想の修正はありません。

連結損益計算書

連結全体では、増収、営業減益、経常減益。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の増加などにより、増益。

連結	2023年度 1Q(4-6月)	2024年度 1Q(4-6月)	前年差	増減率	単位: 百万円
売上高	94,777	98,604	+3,827	+4.0%	
営業利益	6,873	6,178	△694	△10.1%	
経常利益	13,963	12,250	△1,712	△12.3%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,715	14,377	+4,661	+48.0%	



連結セグメント別 実績

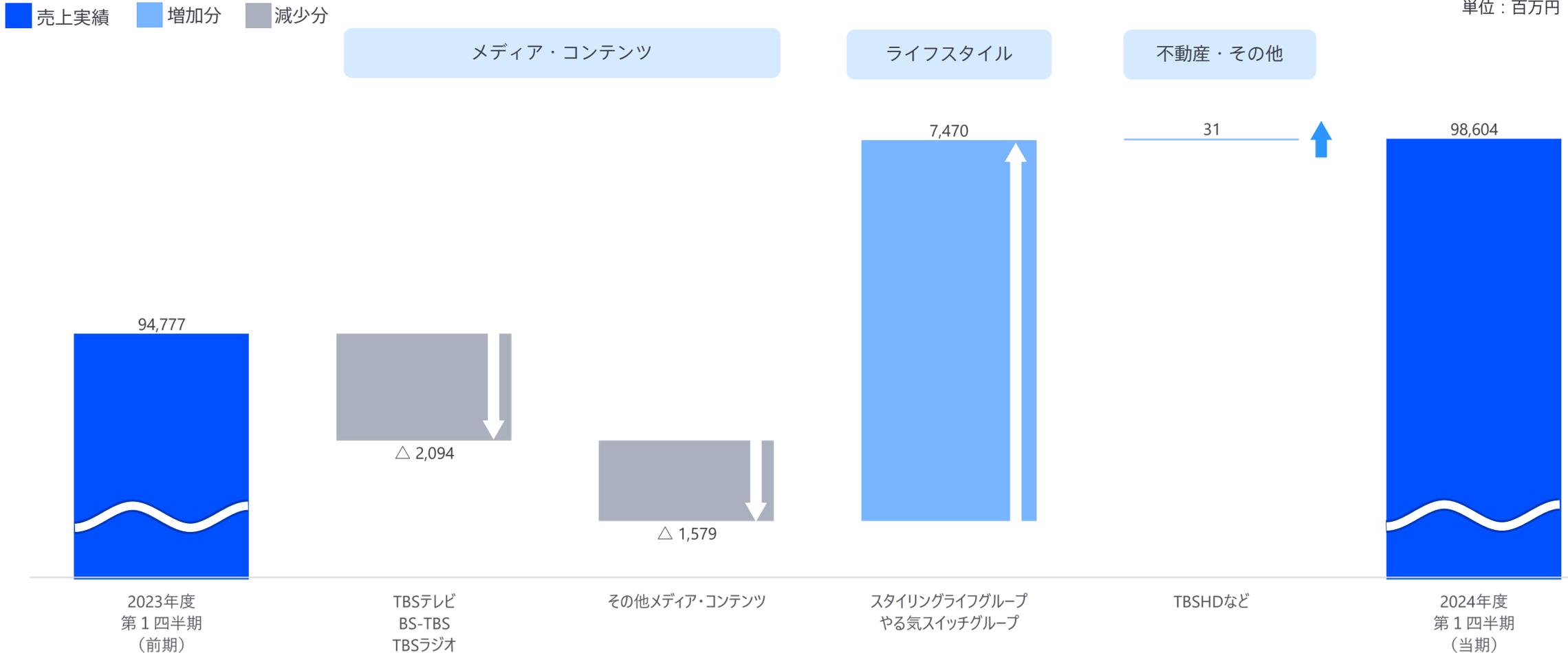
	外部売上				営業利益				単位: 百万円
	2023年度 1Q(4-6月)	2024年度 1Q(4-6月)	前年差	増減率	2023年度 1Q(4-6月)	2024年度 1Q(4-6月)	前年差	増減率	
メディア・コンテンツ	73,869	70,196	△3,673	△5.0%	4,052	3,754	△298	△7.4%	
ライフスタイル	16,746	24,216	+7,470	+44.6%	671	367	△304	△45.3%	
不動産・その他	4,160	4,191	+31	+0.7%	2,146	2,057	△88	△4.1%	
調整額	—	—	—	—	3	△0	△3	—	
連結	94,777	98,604	+3,827	+4.0%	6,873	6,178	△694	△10.1%	

増減要因	外部売上	営業利益	単位: 百万円
メディア・コンテンツ	TBSテレビ△2,181 TCエンタテインメント△906 TBSグロウディア△541	TBSテレビ+314 TBSアクト△333 TCエンタテインメント△299	
ライフスタイル	やる気スイッチグループ+5,268 スタイリングライフグループ+2,196	スタイリングライフグループ+451 やる気スイッチグループ△755	
不動産・その他	TBS HD+103 TBSヘクサ△35		

連結セグメント別 売上高（外部売上）の増減要因

連結全体では、増収。

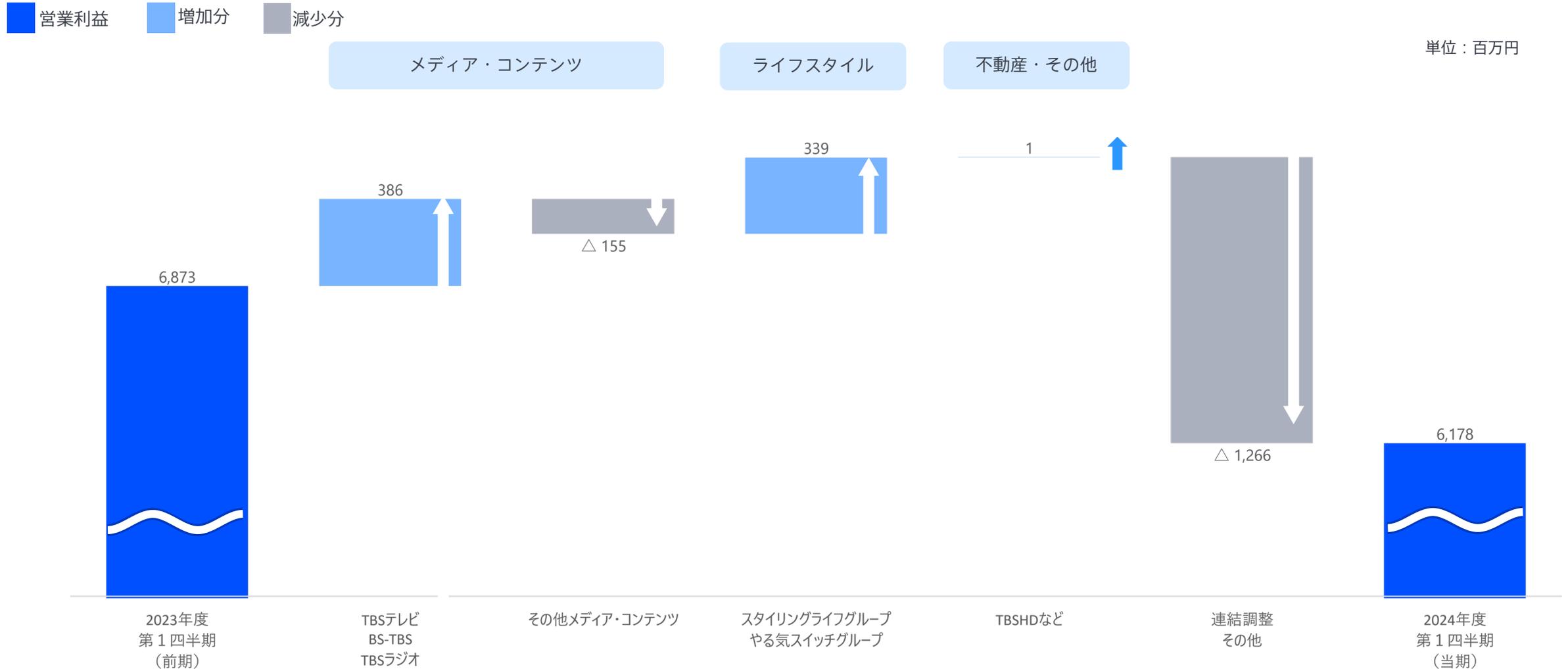
- メディア・コンテンツ事業 → 放送収入や配信広告収入が前年を上回ったものの、前年大きく売上に貢献した海外配信や映画、DVD販売などの反動により、減収。
- ライフスタイル事業 → スタイリングライフグループの化粧品、暑さ対策商材などの伸長に加え、2023年6月に連結したやる気スイッチグループの増加により、増収。
- 不動産・その他事業 → 賃料収入の増加などにより、増収。



連結セグメント別 営業利益の増減要因

連結全体では、減益。

- メディア・コンテンツ事業 → 前年好調であったDVD販売や映画の反動に加え、連結調整その他に含まれている全社費用の増加などにより、減益。
- ライフスタイル事業 → スタイリングライフグループが好調も、連結調整その他に含まれているのれんなどの償却費増加により、減益。
- 不動産・その他事業 → 減価償却費や連結調整その他に含まれている全社費用の増加などにより、減益。

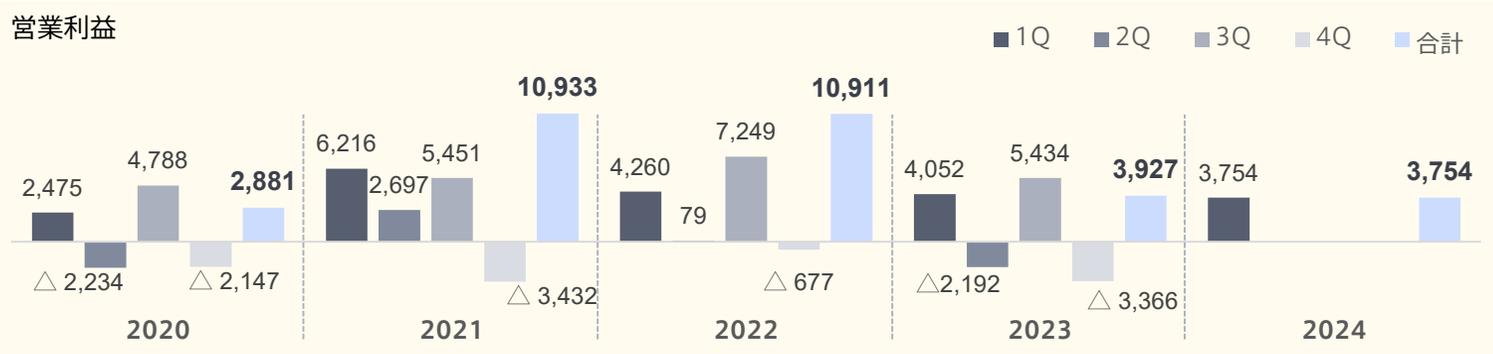


連結セグメント別 経年推移

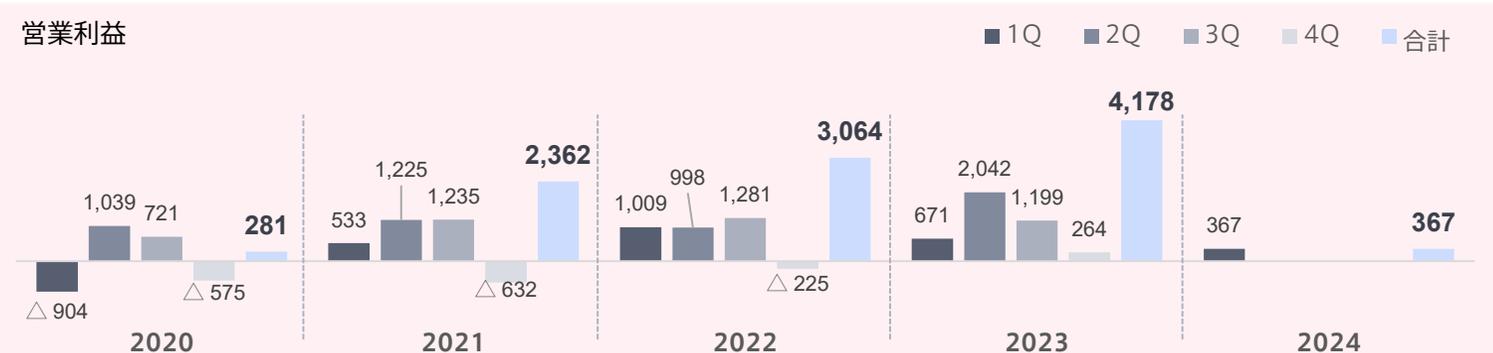
単位：百万円

TBS

メディア・コンテンツ



ライフスタイル



不動産・その他

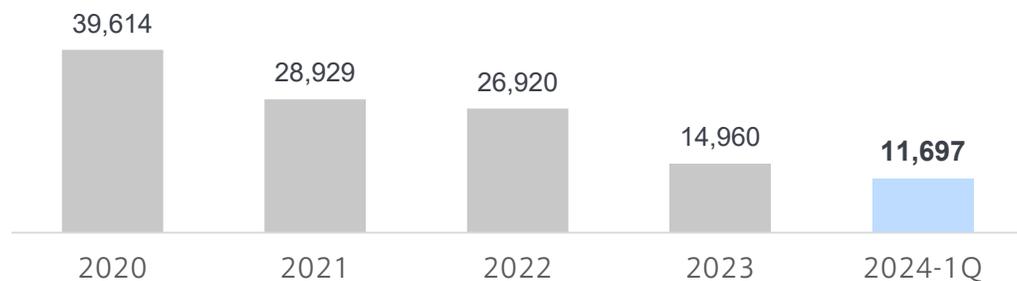


設備投資と減価償却費

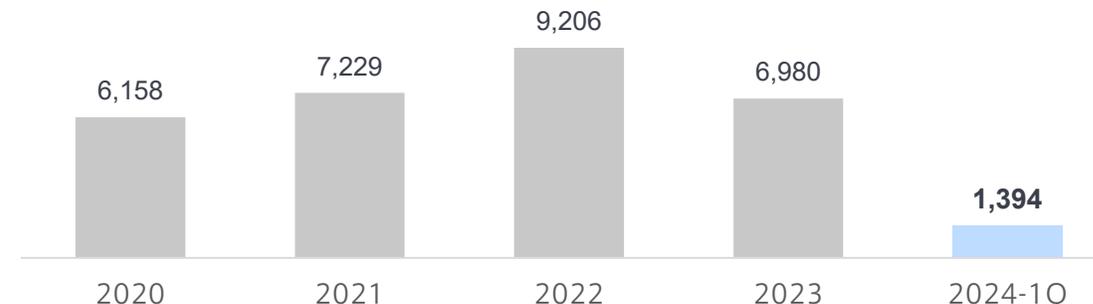
連結	2024年度 1Q(4-6月)	前年差	単位: 百万円
設備投資	11,697	+10,367	
減価償却費	3,633	+609	

TBSテレビ	2024年度 1Q(4-6月)	前年差	単位: 百万円
設備投資	1,394	+802	
減価償却費	1,868	△6	

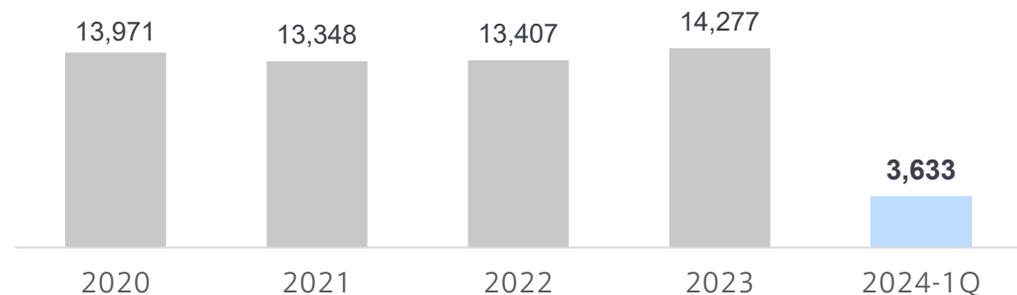
連結設備投資



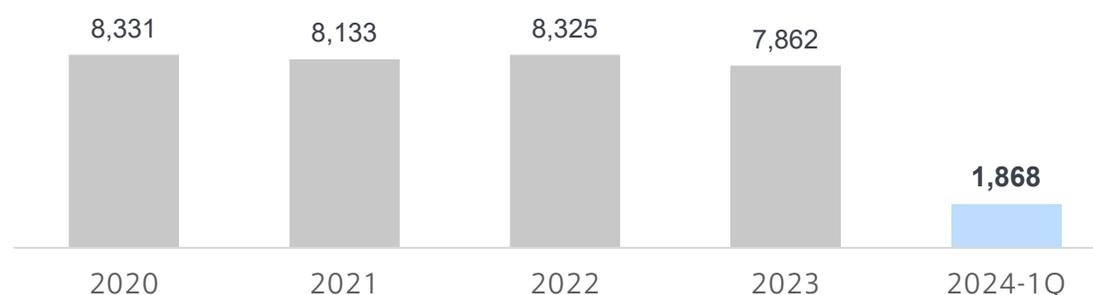
TBSテレビ設備投資



連結減価償却費



TBSテレビ減価償却費

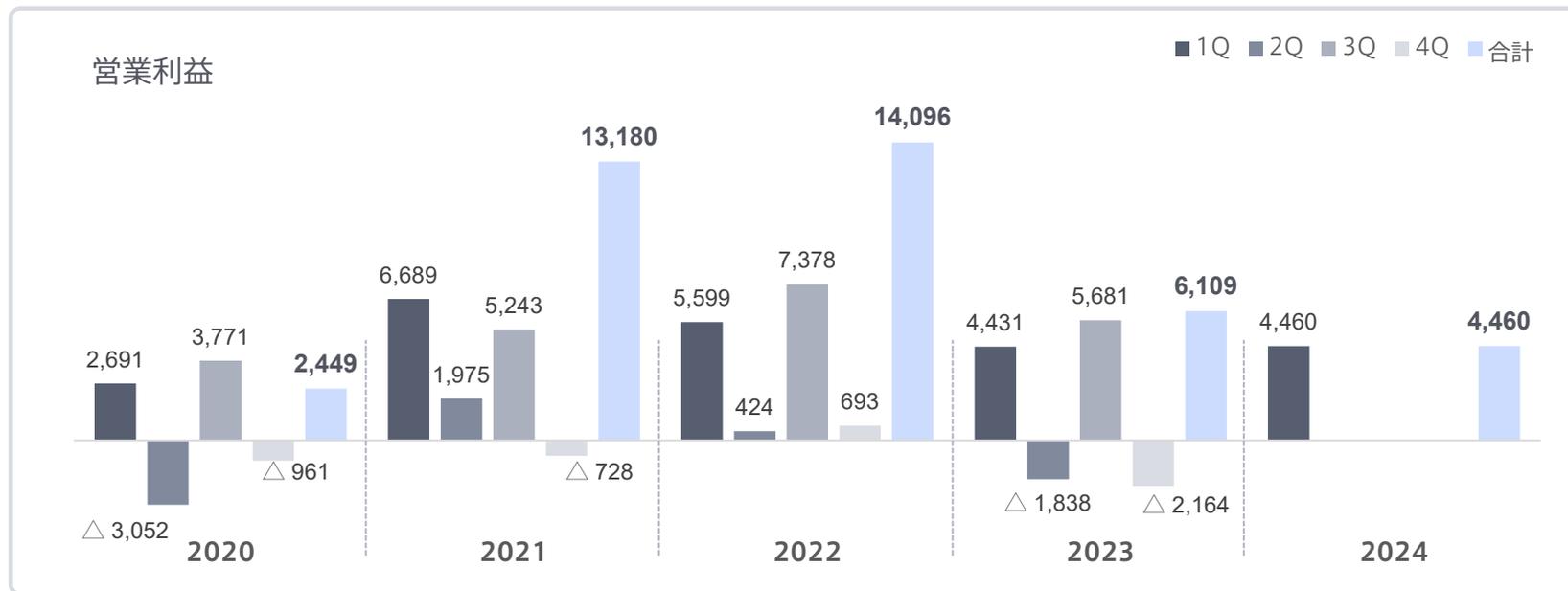


TBSテレビ 損益計算書

テレビ部門では、前年大きく売上に貢献した海外配信の反動により有料配信収入が減収も、放送収入が前年を上回ったことに加え、配信広告収入の伸長、メディア事業の移管により、増収。事業部門では、前年好調であったDVD販売や映画などの反動に加え、メディア事業のテレビ部門への移管により、減収。営業利益は、番組制作費や海外配信連動費用の減少などにより、微増益。経常利益は、受取配当金の増加などもあり、増益。四半期純利益は、前年計上された退職給付費用の反動により特別損失が減少し、増益幅が拡大。

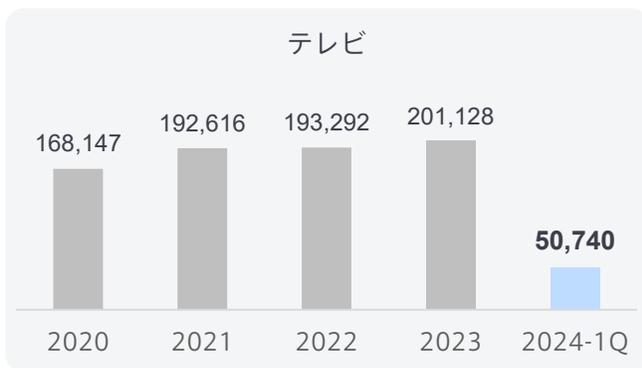
TBSテレビ	2023年度 1Q(4-6月)	2024年度 1Q(4-6月)	前年差	増減率	単位: 百万円
売上高	58,193	55,255	△2,938	△5.0%	
営業利益	4,431	4,460	+29	+0.7%	
経常利益	5,492	5,671	+178	+3.3%	
四半期純利益	4,388	5,987	+1,599	+36.5%	

営業費用など	
番組原価	△1,347
代理店手数料	+150 (当期6,487)
ネットワーク費	+603
事業部門営業費用	△2,239
特別利益 (投資有価証券売却益)	当期 3,389
特別損失 (投資有価証券評価損)	当期 3



	2024年度 1Q(4-6月)	前年差	単位: 百万円
テレビ	50,740	+1,528	
ータイム	20,287	+621	
ースポット	19,512	△129	
ー配信広告	1,976	+424	
ー有料配信	2,659	△1,864	
ーその他	6,304	+2,476	
事業	3,929	△4,462	
不動産	584	△4	
収入合計	55,255	△2,938	

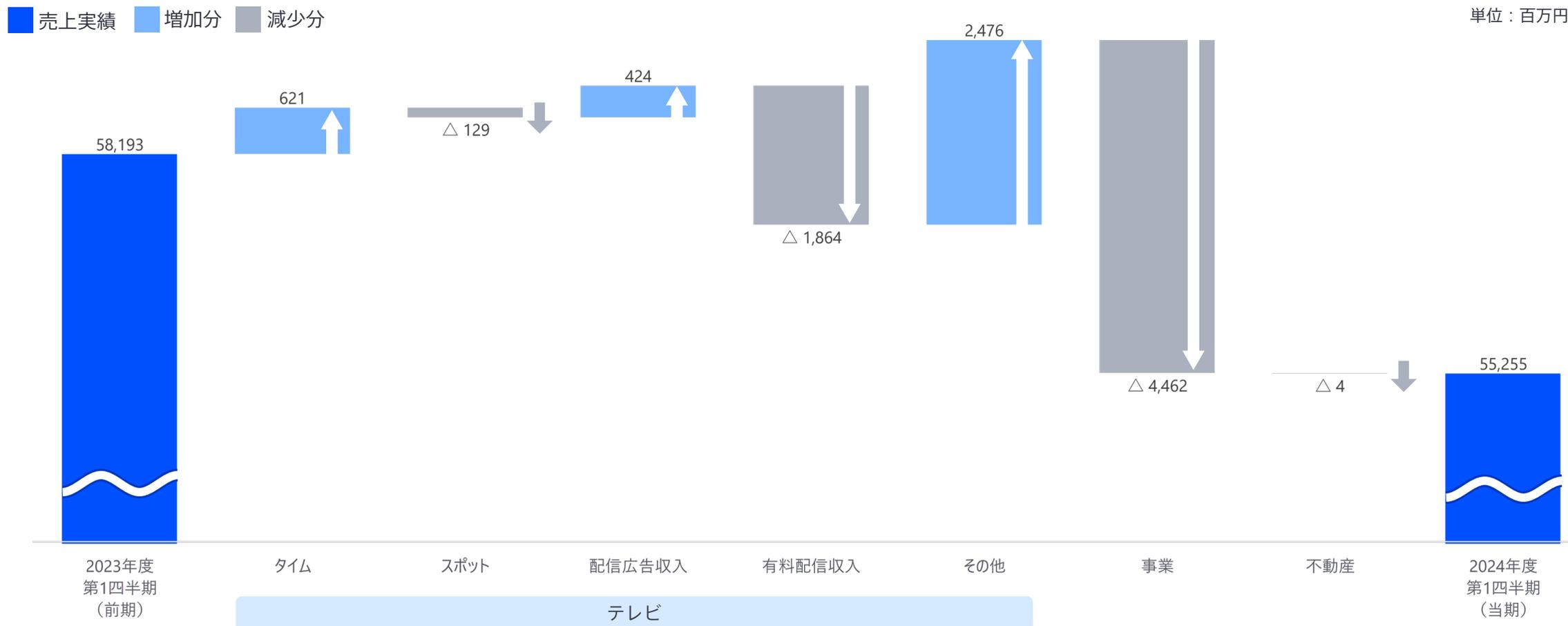
※ 前第1四半期において事業部門に含めていたメディア事業（CS事業）にかかる収入の一部について、前第2四半期よりテレビ部門のその他区分で集計しています。
 なお、前第1四半期について、当該変更による組替は行わずに前年差を算出しています。



TBSテレビ 売上高の増減要因

トータルで、減収。

- テレビ部門 → 前年大きく売上に貢献した海外配信の反動により有料配信収入が減収も、放送収入が前年を上回ったことに加え、配信広告収入の伸長、メディア事業の移管により、増収。
- 事業部門 → 前年好調であったDVD販売や映画などの反動に加え、メディア事業のテレビ部門への移管により、減収。



テレビ番組原価（制作費）

第1四半期は、バラエティの費用減少や、単発ドラマの反動などにより減少。

	2023年度	2024年度	前年差
第1四半期	24,255	22,908	△1,347
（地上波直接費）	19,042	17,901	△1,140
（その他直接費および間接費）	5,213	5,006	△206
第2四半期	25,109	-	-
第3四半期	24,855	-	-
第4四半期	23,171	-	-
通期累計	97,392	97,500	+107
（地上波直接費）	77,423	77,000	△423
（その他直接費および間接費）	19,968	20,500	+531

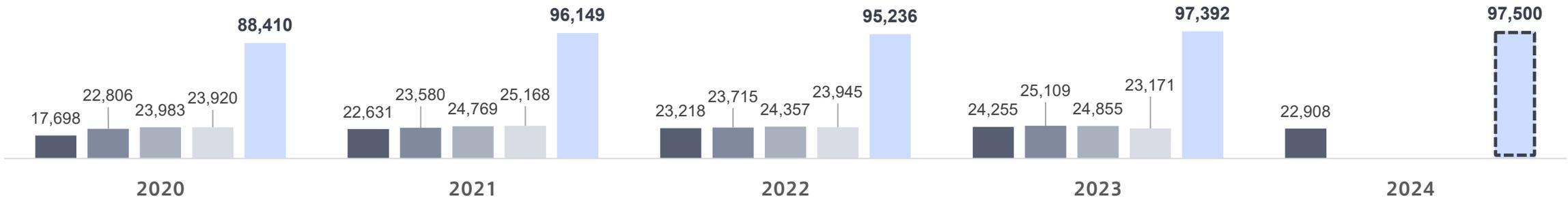
単位：
百万円

テレビ番組原価に含まれる主な費用

- 地上波直接費
番組制作費、放送権料、美術制作費、技術制作費
- その他直接費および間接費
地上波以外の直接費、減価償却費・社員人件費などの配賦原価

※ 点線内の通期累計および内訳は、すべて見込みです。

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q ■ 合計



配信事業の状況

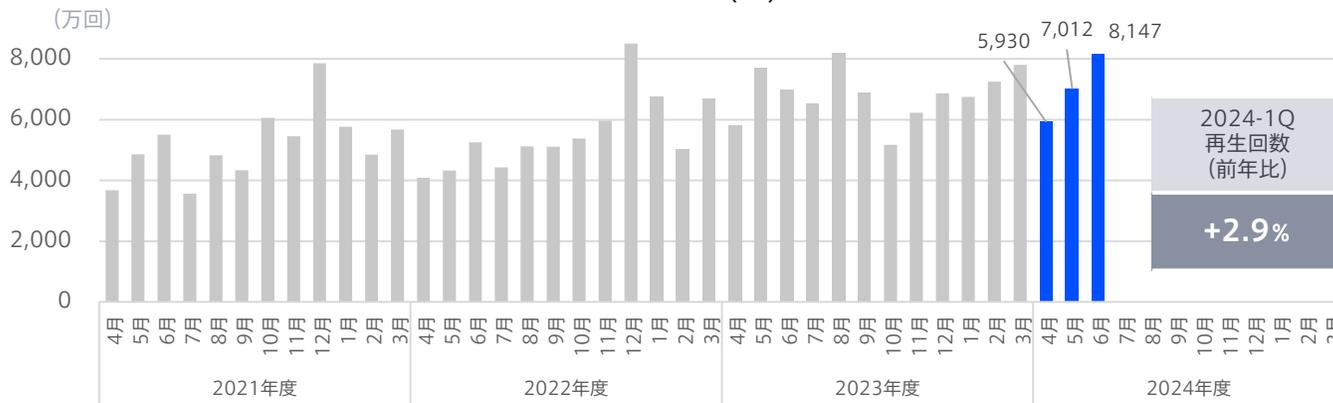
配信広告収入 → 「バレーボールネーションズリーグ」ライブ配信のセールス好調や、ドラマ・バラエティの好調な再生回数を背景に、増収。
 有料配信収入 → 前年大きく売上に貢献した海外配信（「風雲！たけし城」や「離婚しようよ」など）の反動により、減収。

	2023年度 1Q(4-6月)	2024年度 1Q(4-6月)	前年差	増減率	単位: 百万円
配信広告収入	1,552	1,976	+424	+27.3%	
有料配信収入	4,523	2,659	△1,864	△41.2%	

単位：百万円



TVer・TBS FREE・GYAO!(※)などの再生回数



※ GYAO!は2023年3月末でサービス終了

TBSテレビ 事業部門収益

TBS

単位:
百万円

部門	売上高		粗利益		主な増減要因
	2024年度 1Q(4-6月)	前年差	2024年度 1Q(4-6月)	前年差	
アニメ	354	+72	34	△183	「五等分の花嫁」の二次利用収入の増加などにより増収も、地上波枠増加に伴い新作アニメの制作費が増加し、減益。
映画	926	△650	472	△479	前年大ヒットした「TOKYO MER ~走る緊急救命室~」の反動により、減収減益。
ライブエンタテインメント (旧：催事・興行)	2,123	△515	49	△471	舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」の公演収入の一服に加え、23年7月より展覧会事業をTBSグロウディアに移管した影響などにより、減収減益。
コンテンツビジネス (旧：マーチャンダイジングセンター)	206	△613	173	△438	前年好調であったDVD販売の反動に加え、23年7月より一部をTBSグロウディアに移管した影響により、減収減益。
グローバルビジネス	319	△349	140	△205	前年好調であった「風雲！たけし城」のフォーマット販売の反動により、減収減益。
メディア事業・eスポーツ	-	△2,406	-	△603	23年7月以降、テレビ部門に移管。
その他営業費用			△384	+159	
部門計	3,929	△4,462	486	△2,222	事業部門全体では、減収減益。

主なグループ会社の状況

	売上高			営業利益			主な増減要因
	2023年度 1Q(4-6月)	2024年度 1Q(4-6月)	前年差	2023年度 1Q(4-6月)	2024年度 1Q(4-6月)	前年差	
TBSラジオ	2,000	2,010	+9	△17	△54	△36	イベント収入の好調で増収も、スポット収入の減収により、減益。
BS-TBS	4,160	4,234	+73	683	792	+108	放送収入で苦戦したものの、ショッピングや有料配信が好調で、増収増益。
TBSグロウディア	8,127	7,052	△1,075	321	124	△197	前年好調であったDVD収入の反動などにより、減収減益。
日音	2,234	2,155	△79	240	225	△14	洋楽収入が増加の一方、邦楽収入の減少などにより、減収減益。
TCエンタテインメント	2,645	1,495	△1,150	399	100	△299	前年好調であったDVD販売の反動などにより、減収減益。

単位:
百万円

スタイリングライフグループ

雑貨小売販売事業は、化粧品や暑さ対策商材が伸長したことなどにより、増収。
 ビューティ&ウェルネス事業は、「サボリーノ」や「乾燥さん」といった主カブランドや新規商材が伸長したことなどにより、増収。
 グループ全体では、増収増益。また、連結売上高、営業利益とも、第1四半期としては過去最高を更新。

※1 事業別の売上高は管理会計上の数値。

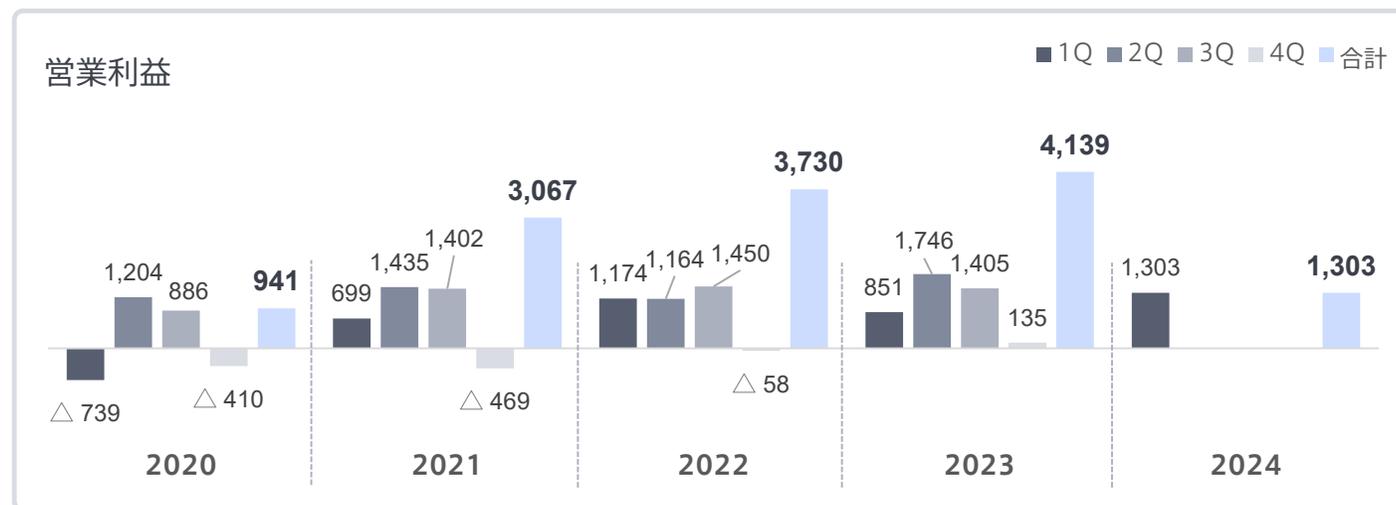
連結	2023年度 1Q(4-6月)	2024年度 1Q(4-6月)	前年差
売上高	16,751	18,940	+2,188
営業利益	851	1,303	+451

単位: 百万円

事業別	売上高※1		
	2023年度 1Q(4-6月)	2024年度 1Q(4-6月)	前年差
雑貨小売販売事業	9,350	11,034	+1,683
通信販売事業※2	4,122	4,153	+30
ビューティ & ウェルネス事業	3,368	3,859	+491
本社およびその他	△90	△106	△16
計	16,751	18,940	2,188

単位: 百万円

※2 ライトアップショッピングクラブは、株式譲渡に伴い、当第1四半期末において、連結範囲から除外。



やる気スイッチグループ

やる気スイッチグループは国際会計基準（以下、IFRS）を適用しており、連結上ではIFRSを日本基準に組み替えた上で、24年3月～24年5月の3か月分を取り込んでいます。

TBS

個別指導塾事業および幼児教育事業は、積極的なフランチャイズ教室の直営化に加えて、昨年9月からの授業料などの値上げにより、両事業ともに増収。その一方、昨年9月に実施した賃上げなどによる人件費増加に加え、不採算フランチャイズ教室の直営化や人材確保が先行したことによる売上高人件費率の上昇、ブランディング強化による広告宣伝費の増加により、減益。

連結	2023年度 1Q (3-5月) ※2	2024年度 1Q (3-5月)	前年差
売上収益	5,040	5,269	+229
営業利益	83	△100	△183
営業利益 トランザクション関連費用※1 除く	93		△193

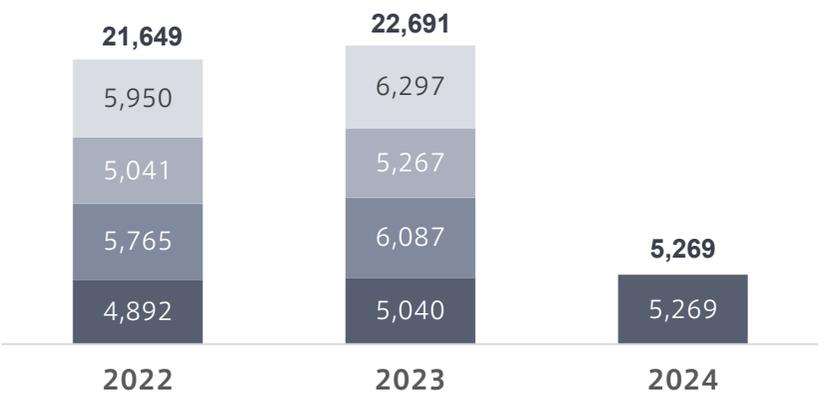
単位：
百万円

事業別	売上収益 ※3		
	2023年度 1Q (3-5月) ※2	2024年度 1Q (3-5月)	前年差
個別指導塾事業	2,225	2,276	+51
幼児教育事業	2,815	2,993	+177
計	5,040	5,269	+229

単位：
百万円

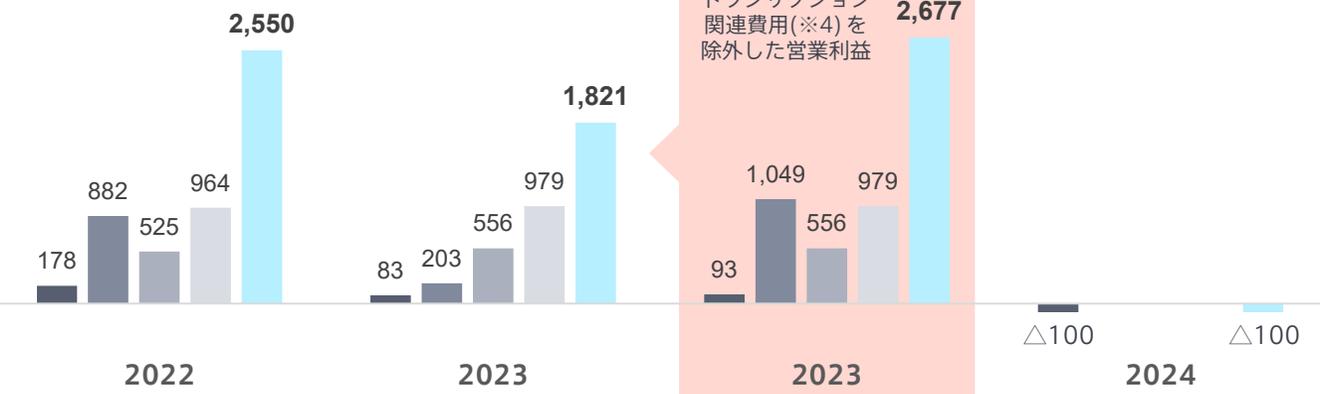
売上収益

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



営業利益

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q ■ 合計



※1 やる気スイッチグループがTBSグループ入りに伴い発生した費用。
 ※2 やる気スイッチグループは2023年6月より連結の範囲に加わっております。そのため、前第1四半期の数値は参考情報となります。
 ※3 事業別の売上収益は管理会計上の数値。
 ※4 やる気スイッチグループがTBSグループ入りに伴い発生した費用（IFRS）を指し、連結上では日本基準に組み替えて一部を特別損失に計上しています。

2024年度 第1四半期決算ハイライト

▶ **2024年度 業績見通し**

株主還元

今後の重点施策

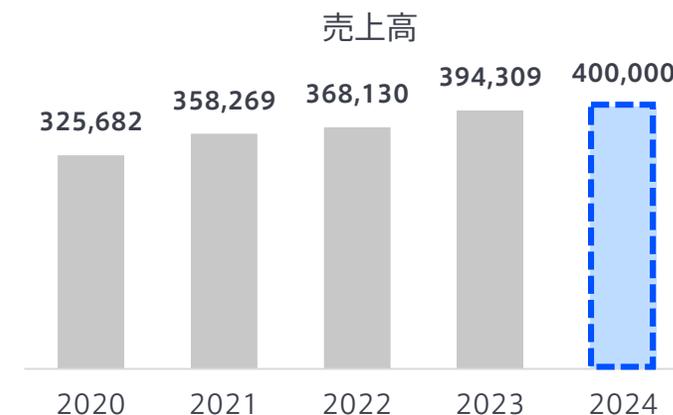
参考資料

2024年度 連結業績予想

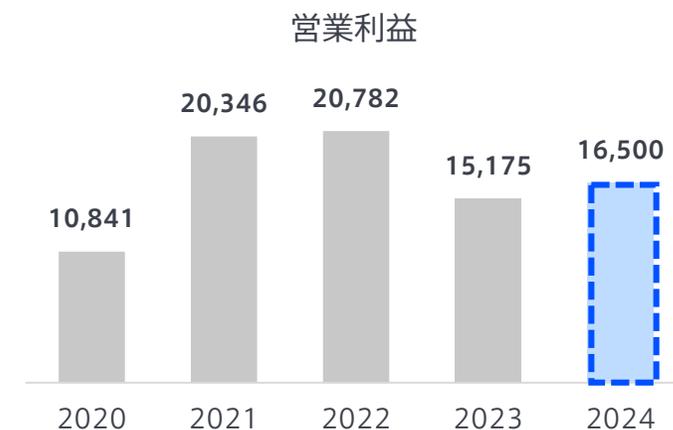
連結業績予想は、2023年度決算発表時より変更なし。

連結	2023年度実績	2024年度予想	前年差
売上高	394,309	400,000	+5,690
営業利益	15,175	16,500	+1,324
経常利益	27,653	26,100	△1,553
親会社株主に帰属する当期純利益	38,126	21,600	△16,526

単位:
百万円



セグメント別	売上高			営業利益		
	2023年度実績	2024年度予想	前年差	2023年度実績	2024年度予想	前年差
メディア・コンテンツ	287,854	294,700	+6,845	3,927	6,400	+2,472
ライフスタイル	89,903	88,200	△1,703	4,178	4,200	+22
不動産・その他	16,552	17,100	+547	7,066	5,900	△1,166
調整額	—	—	—	3	—	△3
連結	394,309	400,000	+5,691	15,175	16,500	+1,325

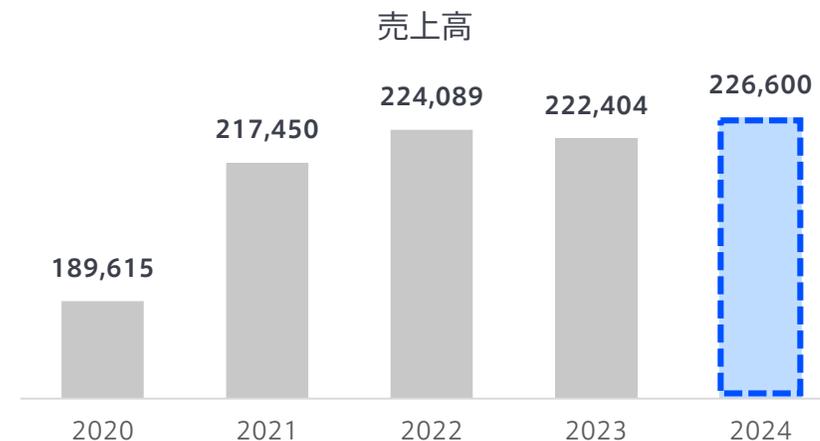


2024年度 TBSテレビ業績予想

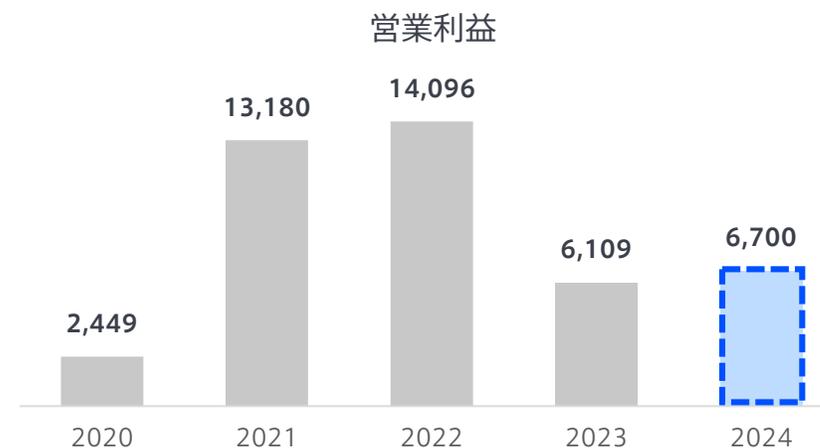
TBSテレビ業績予想は、2023年度決算発表時より変更なし。

TBSテレビ	2023年度実績	2024年度予想	前年差
売上高	222,404	226,600	+4,195
営業利益	6,109	6,700	+590
経常利益	8,644	9,100	+455
当期純利益	5,863	8,100	+2,236

単位:
百万円



	2023年度実績	2024年度予想	前年差	増減率
タイム	81,590	79,300	△2,290	△2.8%
スポット	77,777	79,500	+1,722	+2.2%
番組原価	97,392	97,500	+107	+0.1%



2024年度 第1四半期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

▶ 株主還元

今後の重点施策

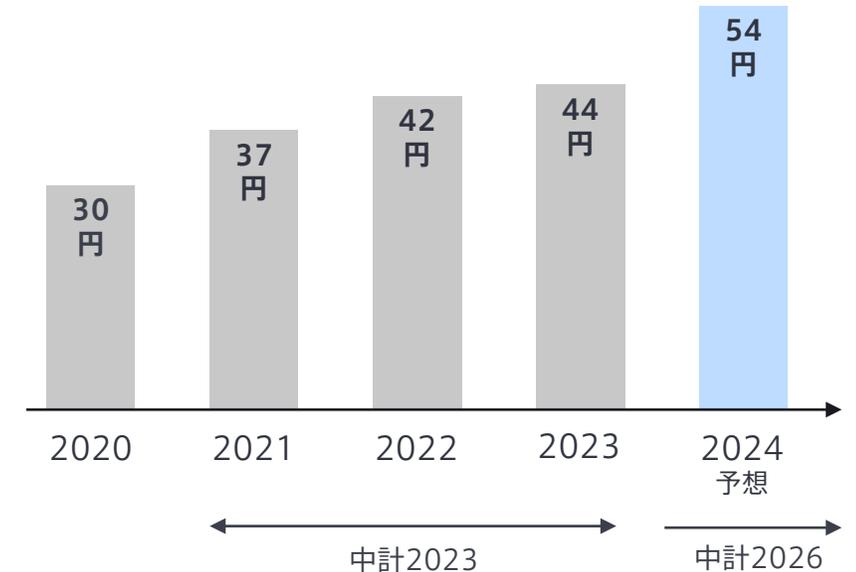
参考資料

株主還元方針と年間配当予想

基本方針 連結ベースの配当性向**40%**を目途として、安定的かつ継続的に配当を実施するとともに、**総還元性向**を意識したうえで、自己株式の取得も機動的に実施します。

	1株当たり配当金 (円)			配当性向 (%)	特殊な要因*の影響を除いた配当性向 (%)
	第2四半期末	期末	年間		
2020年度	15	15	30	18.3	59.5
2021年度	15	22	37	19.7	30.9
2022年度	20	22	42	20.1	30.3
2023年度	22	22	44	18.9	34.4
2024年度 (予想)	27	27	54	40.4	—

* 中長期の収益拡大を目指す成長領域への投資の源泉として売却した投資有価証券から生じる売却損益は、配当額を決定する上では「特殊な要因」と位置付け。



2024年度は10円増配の54円を予想。引き続き、安定的かつ継続的な配当を実施。

2024年度 第1四半期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

▶ 今後の重点施策

参考資料

配信事業 (TVer)



- 月間動画再生数 **4.5億回**を突破
- 月間ユーザー数 **3,500万MUB**を突破
- アプリ累計DL数 **7,500万DL**を達成
- 配信番組数 **800番組以上** (全局総計)

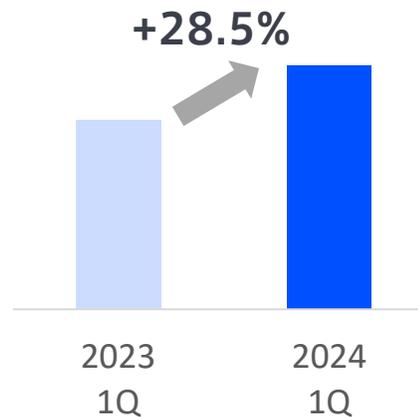
※レギュラー番組

パリ2024オリンピック™ ほぼ全競技を無料配信 新規ユーザー獲得へ

7月24日(水)から競技が開始するパリ2024オリンピック™は、TVerでほぼ全競技※1を無料配信、地上波では放送されない種目のライブ配信も行います。各競技の厳選シーンをお届けする「ハイライト動画」も期間中、毎日配信します。

※1 NHKの地上波放送競技の一部を除く。

TBS TVer収入 (前年比)



TBS(2024-1Q) 業種別ランキング

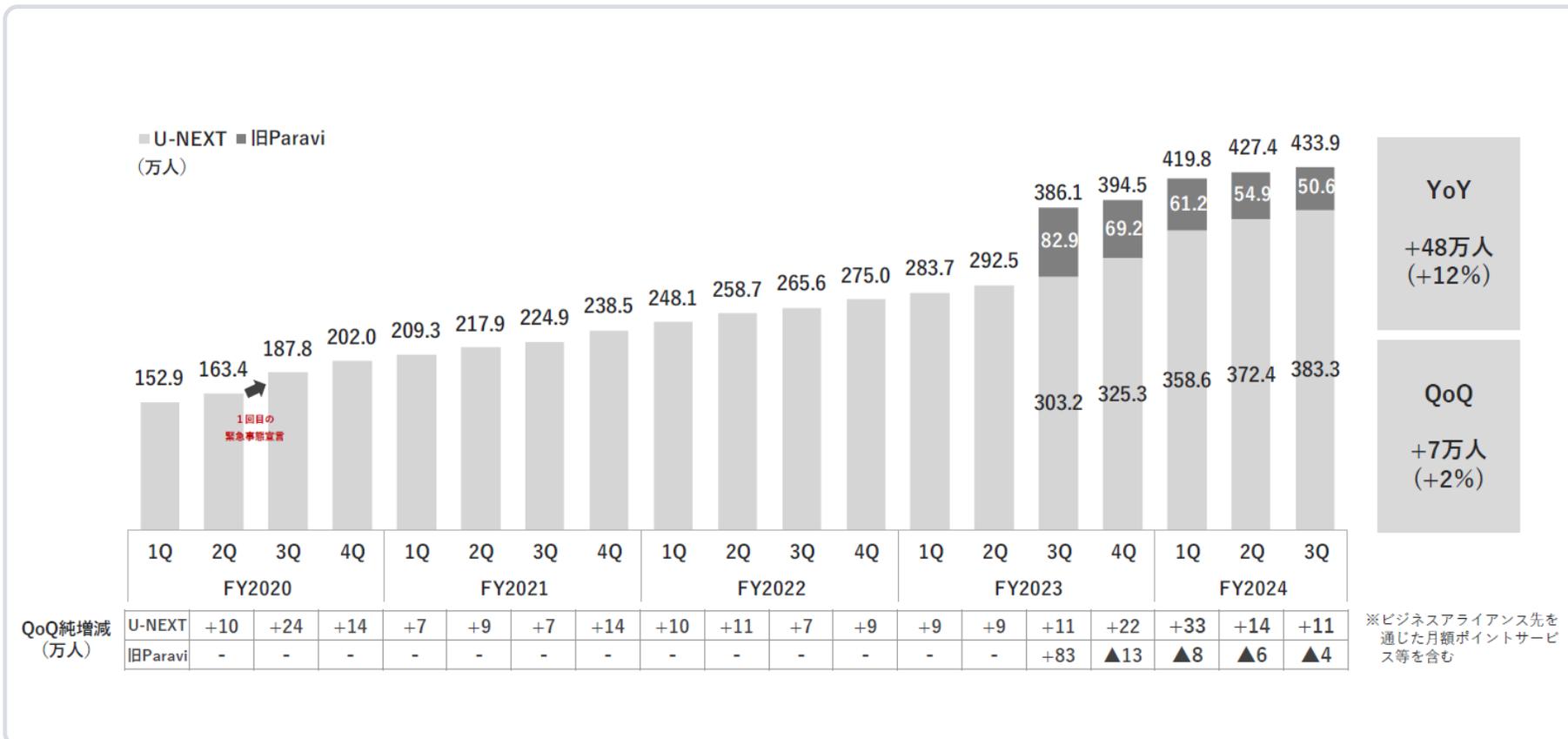
1	酒・飲料
2	化粧品・トイレットリー
3	エンタテインメント・趣味
4	精密機器・事務機
5	医薬品
6	金融
7	食品
8	外食・サービス
9	不動産・建設
10	情報・通信・放送

TBS TVer収入 (年度推移)



配信事業 (U-NEXT)

U-NEXT 課金ユーザー数は着実に積み上げ



出典：(株)U-NEXT HOLDINGS 2024年8月期 第3四半期決算説明資料



「バレーボールネーションズリーグ」の日本戦全試合(5/16～7/1)をライブ配信



日曜劇場「アンチヒーロー」撮影秘話などを語る、配信限定コンテンツ「アンチヒーローなスタッフ～オーディオコメンタリー版」配信

映画・興行・催事 今後の主なラインナップ

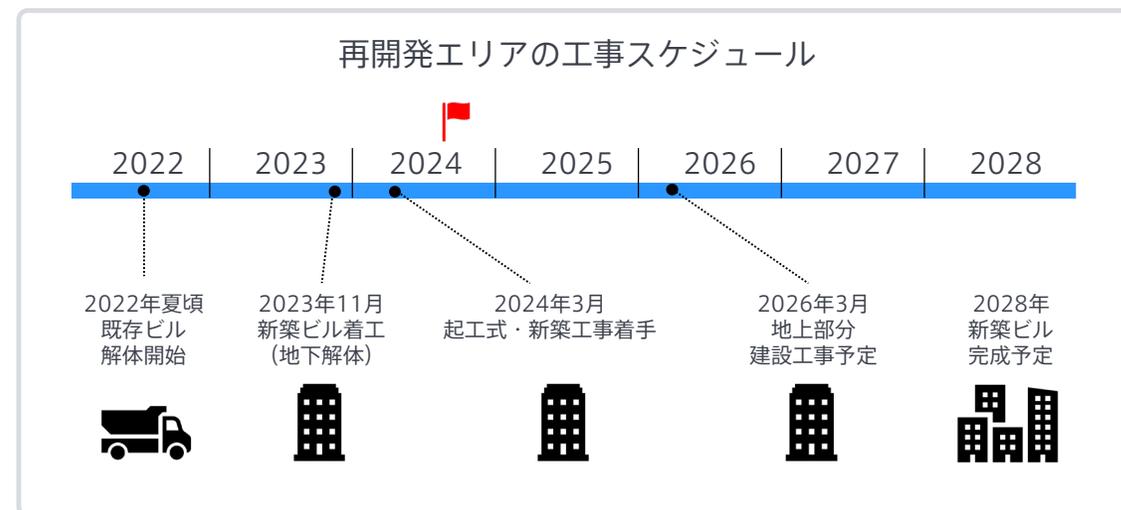
2024/8/8 現在

	期間	タイトル	備考
映画	2024/8/23公開	「ラストマイル」	配給：東宝
	2024/10/11公開	「若き見知らぬ者たち」	配給：クロックワークス
	2024/11/1公開	「スマホを落とすただけなのに～最終章～ファイナルハッキングゲーム」	配給：東宝
	2024/11/29公開	「正体」	配給：松竹
	2024年冬公開	「グランメゾン・パリ」	配給：東宝ほか
	2025年春公開予定	「少年と犬」	配給：東宝
	2025年公開	劇場版「トリリオンゲーム」	配給：東宝
興行	2022/7/8～ロングラン	舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」	TBS赤坂ACTシアター
	2024/8/2～10/26 11/9-11/24	ミュージカル「ビリー・エリオット～リトル・ダンサー～」	東京建物 Brillia HALLほか
	2024/8/24	「ラヴィット! ロック2024」	国立代々木競技場第一体育館
	2024/8/28～8/30	「クレイジージャーニーLIVE2024～ジャーニーたちの夏休み特別クレイジー授業～」	草月ホール
	2024/9/21～9/29	ミュージカル「黒執事」～寄宿学校の秘密 2024～	TOKYO DOME CITY HALL
	2024/9/8 9/21～10/6	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Autumn Tour 2024 「マーメイド」	Bunkamuraオーチャードホールほか
	2024/9/11～9/16 9/18～9/23	ブロードウェイ・ミュージカル「プリティ・ウーマン」	新国立劇場 オペラパレスほか
	2024/9/14～9/16	「CDTV ライブ! ライブ! 大感謝祭2024」	東京ガーデンシアター
	2024/9/25	「最強スポーツ男子頂上決戦2024秋」	ぴあアリーナMM
	2024/10/6～10/21	ミュージカル「9 to 5」	日本青年館ホール
	2024/10/9～10/29	ブロードウェイ・ミュージカル「NEWSIES」	日生劇場
	2024/11/23～12/8	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Winter 2024 「くるみ割り人形」	Bunkamuraオーチャードホール
	2025/1/9～1/11	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Winter 2025 「シンデレラ」	東京文化会館
2025/1/17～2/24	ミュージカル「ラブ・ネバー・ダイ」	日生劇場	
催事	2025/3/11～6/8	展覧会「西洋絵画、どこから見るか？」 ールネサンスから印象派までサンディエゴ美術館 vs 国立西洋美術館	国立西洋美術館

赤坂エンタテインメント・シティ



※ 青字部分は2028年竣工予定の再開発エリア（写真・イラストはイメージです。）



アニメ

TBSアニメレギュラー枠は3枠。
MBS、CBCとも連携し、JNN系で全国放送枠が5枠に。



「杖と剣のウィストリア」
日曜 ごご4:30～
(7月クール)
©大森藤ノ・青井聖・講談社/
「杖と剣のウィストリア」製作委員会



「ラーメン赤猫」
木曜 よる11:56～
(7月クール)
©アンギャマン/
集英社・ラーメン赤猫製作委員会



「ハズレ枠の状態異常スキルで
最強になった俺が
すべてを蹂躞するまで」
木曜 よる12:59～
(7月クール)
©篠崎芳・オーバーラップ/ハズレ枠の
状態異常スキル製作委員会



「女神のカフェテラス」
木曜 深夜0:26～
(7月クール：MBS)
©瀬尾公治・講談社/「女神のカフェテラス」製作委員会・MBS



「ダンダダン」
木曜 深夜0:26～
(10月クール：MBS)
©龍幸伸/集英社・ダンダダン製作委員会



「夜桜さんちの大作戦」
日曜 ごご5:00～
(7月クール：MBS)
©権平ひつじ/集英社・
夜桜さんちの大作戦製作委員会・
MBS



「シャングリラ・
フロンティア
2nd Season」
日曜 ごご5:00～
(10月クール：MBS)
©硬梨菜・不二涼介・講談社/
「シャングリラ・フロンティア」
製作委員会・MBS



「七つの大罪 黙示録の四騎士」
第2期
日曜 ごご4:30～
(10月クール)
©鈴木央・講談社/
「七つの大罪 黙示録の四騎士」製作委員会



「アオのハコ」
木曜 よる11:56～
(10月クール)
©三浦稔/集英社・「アオのハコ」製作委員会



「さようなら竜生、
こんにちは人生」
(10月クール)
©永島ひろあき・アルファボリス/
「さようなら竜生、こんにちは人生」製作委員会



「『キン肉マン』
完壁超人始祖編
第2期」
日曜 よる11:30～
(7月クール：CBC)
©ゆてたまご/
集英社・キン肉マン製作委員会

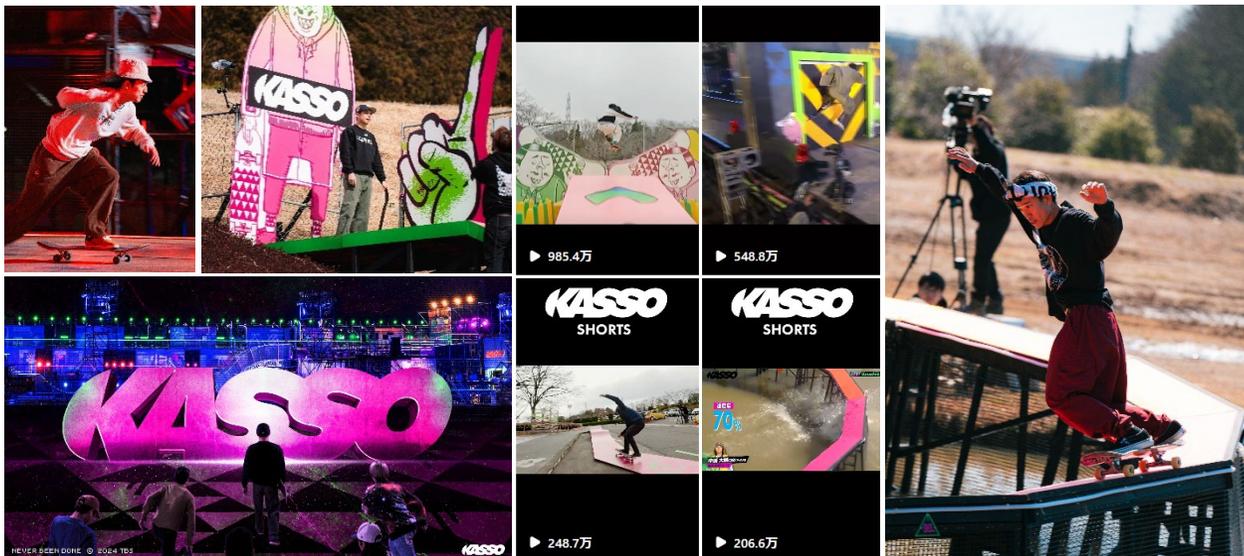


「転生貴族、
鑑定スキルで成り上がる
第2期」
日曜 よる11:30～
(10月クール：CBC)
©未来人A・講談社/
鑑定スキルで成り上がる製作委員会

TBSアニメは現在、レギュラー3枠で放送しています。中でも木曜よる11時56分、日曜ごご4時30分は全国同時放送枠です。2024年4月からはMBSによる木曜深夜0時26分、CBCによる日曜よる11時30分の2枠も加わり、MBSの日曜5時枠を含め、JNN系で全国同時放送枠が5枠になっています。グッズの物販や海外販売といった二次利用からの利益が収入の大部分を占めるアニメへの投資を本格化させています。

IP戦略 (KASSO・Hi-Fi Un!corn・ゲーム)

TBSグループとしてオリジナルIPの開発・拡張戦略の三本柱を「スポーツ」「ヒト」「ゲーム」と位置付けます。



スポーツIP「KASSO」

スケボーをテーマにした新規IP「KASSO (カッソー)」。
番組に先立ちブランド公式SNS (Instagram等) をオープン。2024年3月放送の「スケボー版SASUKE」ともいえる大型番組の放送後は同コンテンツをSNSで北米などグローバルに発信。
Instagramの動画は再生回数1,000万回を超えるものもあり、SNSオリジナルコンテンツも展開するなど、人気急上昇中。



ヒトIP「Hi-Fi Un!corn」

日韓合同の大型オーディションでの9カ月にわたる選考を経て結成された「Hi-Fi Un!corn (ハイ・ファイ・ユニコーン)」。
2023年6月に世界デビューを果たしました。



「Hi-Fi Un!corn」
1stアルバム「FANTASIA」
8月28日(水) 発売予定



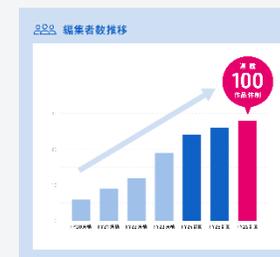
ゲームIP

- 1
番組「アイ・アム・冒険少年」からスピンオフしたゲーム「超・脱出島」(Nintendo Switch) 2024年3月に発売
- 2
全世界で5億人がプレイするオンラインゲーム「Fortnite」上でオリジナルゲーム「JAPANESE ZOMBIE SURVIVAL」を2024年4月配信開始
- 3
「Fortnite」上でオリジナルゲーム「HUMAN HEAD CLIMB」を2024年5月に配信開始

*2、3は小中学生に絶大な人気の「フォトナニューチューバー」LiaqNとコラボして開発

マンガボックス

累計1,900万DLを超えるマンガアプリ。
2020年の分社化以降、連載100作品体制の確立と永続的なIP創出に向けた投資を継続、安定的に成長。2026年までに「連載100作品体制」達成を目標に掲げます。



スタイリングライフグループのトピックス

PLAZASTYLE

20代の肌悩みを考えたスキンケアブランド「Dunamis」
8月2日(金)より全国のPLAZA・MINIPLAにて発売開始！

若い時期から悩みの増えるお肌ケア。ブランドのディレクター自身がかかえた悩みをもとに開発されたスキンケアラインがデビューしました。
第1弾のラインアップは、肌ケアに重要な「落とすケア」。
目にしみにくく、洗い流し不要の「ポイントメイクリムーバーパッド」、
角質除去効果とベースメイク落としを両立した、メンズにもおすすめの
「クレンジ&ウォッシュトリートメントオイル」、
寝ている間の皮脂汚れや古い角質をやさしくオフする
「クリアワイプ&ウォッシュトナーパッド」の3アイテム。
数多くの化粧品を店頭にて販売している「PLAZA」だからこそわかる、
若い方へ向けた肌ケアアイテムのデビューです。



あなたの街にPLAZAがやってくる！

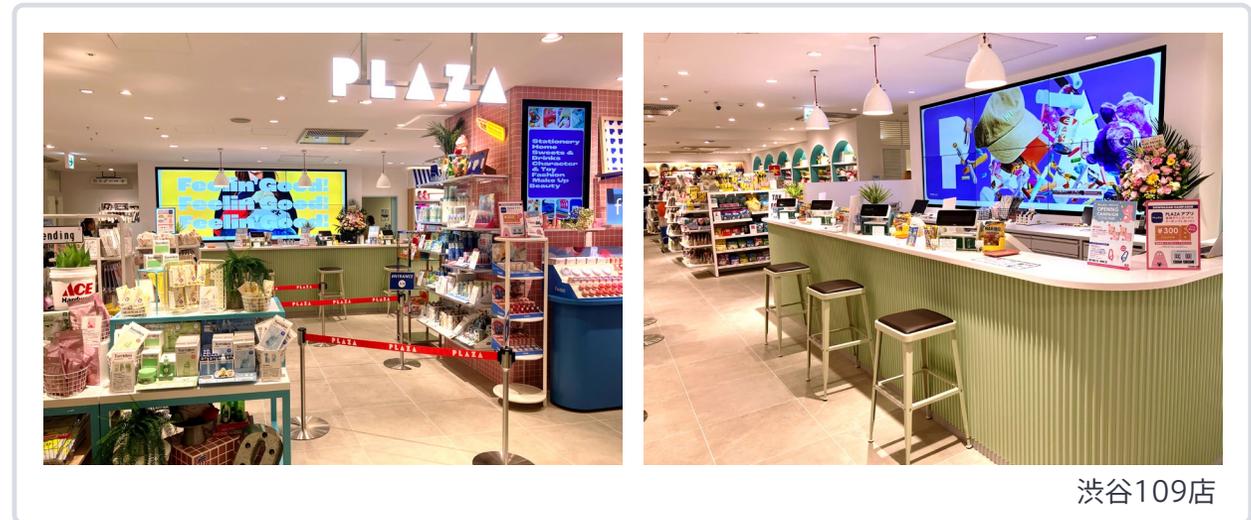
PLAZA
SHIBUYA 109
RENEWAL
OPEN
2024.7.19 FRI.

PLAZA
LUMINE
KITASENJU
RENEWAL
OPEN
2024.8.2 FRI.

PLAZA
AEONMALL
HAMAMATSU
ICHINO
OPEN
2024.9.13 FRI.

PLAZA イオンモール浜松市野店

出店場所 静岡県浜松市 イオンモール浜松市野 1F
オープン日 2024年9月13日(金) 予定



渋谷109店

やる気スイッチグループのトピックス

教室数及び生徒数推移

教室数推移

2023年5月末時点
2,263 校

▶

2024年5月末時点
2,409 校

生徒数推移

2023年5月末時点
124,469 名

▶

2024年5月末時点
124,800 名

TBSとのシナジー発揮



『やる気スイッチラジオ アストルム Supported by やる気スイッチグループ』スタート (2024年4月)

やる気スイッチグループが提供するラジオ番組がTBSラジオにてスタートしました。「アストルム」とは、ラテン語で「星」の意味。やる気スイッチグループが理念に掲げる“宝石”を「星」に置き換え、様々なジャンルのゲストの輝く星に着目。“宝石”を輝かせていくために欠かせない自分力をどのように発揮し、周囲と協調しながら挑戦を続け、そして活躍されているのか、ゲストの「やる気スイッチ」が入った瞬間を引き出していきます。

新規開校状況 (2024年3月～)



2025年2月期
累計開校件数
2 校 開校^{*1}

3月開校
■FC 大府柊山校(愛知)
■直営 下連雀校(東京)



2025年2月期
累計開校件数
1 校 開校

3月開校
■FC 浦和美園(埼玉)



2025年2月期
累計開校件数
3 園 開園

4月開園
■FC 福岡アイランドシティ(福岡)
■FC 名鉄星ヶ丘(愛知)
■FC 西宮北口(兵庫)



2025年2月期
累計開校件数
14 拠点 開講^{*2}

3月開校
■YPFC 府中校(広島)
■YPFC 彩都校(大阪) etc.

4月開校
■YPFC 祇園校(広島)
■YPFC 新下関校(山口) etc.

5月開校
■YPFC わさだ校(大分)
■YPFC 鳥取校(鳥取) etc.



2025年2月期
累計開校件数
1 校 開校

3月開校
■直営 九段下校(東京)



2025年2月期
累計開校件数
15 ラボ 開校

3月開校
■FC 瀬戸道泉ラボ(愛知)
■FC 新潟関屋ラボ(新潟) etc.

4月開校
■FC 登美ヶ丘ラボ(奈良)
■FC 初石ラボ(千葉) etc.



2025年2月期
累計開校件数
5 園 開園

4月開園
■FC 名鉄刈谷(愛知)
■FC 四谷(東京)
■FC 仙台東口(宮城)
■FC メガロス町田(東京)
■FC 名鉄ヒルズ徳重(愛知)



▲ 4月開園 KDI 左から、福岡アイランドシティ、名鉄星ヶ丘、西宮北口

*1 海外教室除く *2 プログラミング教室『HALLO』の開校件数は(株)YPスイッチの直営及びFC(他塾展開)の開講数のみをカウント

ESGの取り組み

気候変動対策として、2023年度に放送センター、赤坂サカス文化施設、緑山スタジオの、グループ主要3施設のカーボンニュートラルを実現。Scope 1+2のGHG（温室効果ガス）排出量は大幅に減少し、2022年度比で約半減。（2023年度排出量（速報値）：18,924 t-CO2）

2024年度からは「実質的なGHG排出削減」に向けた新たな取り組みフェイズへ

証書購入から再生可能エネルギー活用へ

- 現在、GHG排出削減の大部分をグリーン電力証書やグリーン熱証書などの購入で実現していますが、証書は毎年購入する必要があるほか、今後、値段の上昇が予想され、支出が増えることも想定されます。
- 社会全体としては依然として、再生可能エネルギーが不足しており、新規に創出することが求められています。
- TBSグループとしては電源を再エネ化することでコストの削減と同時に「実質的なGHG排出削減」を実現する新たなフェイズにステップアップします。

中計2026で設定した成長投資枠の一環としてのGX投資を検討中

- TBSグループ内外の敷地を活用した再エネ発電への投資などを検討しており、2026年度までにグループ全体の再エネ電力比率100%達成を目指します。

「地球を笑顔にする広場 24春」開催

2020年秋から、毎年春・秋にSDGsキャンペーン「地球を笑顔にするWEEK」を実施。これに連動し、今回7回目となるイベント「地球を笑顔にする広場」を開催。

- ゴールデンウィークの3日間（5/3～5/5）に開催
- 親子連れを中心に、過去最高の延べ2万人超が参加



プライバシーセンターの設置

TBSグループでは、パーソナルデータをどのように取得・管理・活用しているかについて、分かりやすく説明したプライバシーセンターを2024年7月1日に設置しました。
データを適正に管理することにより、皆さまからの信頼にお応えするよう努めています。

TBS プライバシーセンター

- パーソナルデータ
- 視聴・聴取データとCookie
- TBS ID
- TBSグループ各社プライバシーポリシー
- 報道著述目的の個人情報
- オプトアウト・開示手続き
- パーソナルデータを守る体制
- ご意見・お問い合わせ



お知らせ

2024.7.1 TBSプライバシーセンターのホームページを公開しました。

CPO (Chief Privacy Officer: 最高個人情報責任者) よりご挨拶

皆さま、こんにちは。TBSグループのCPO (Chief Privacy Officer: 最高個人情報責任者) を務めている井田車利です。
高度情報通信社会の進展に伴って、企業を取り扱うデータの数は増え続けており、厳しい管理が求められています。
私たちTBSグループも、個人情報やこれに関わるデータを数多く管理しておりますが、これらを総称して「パーソナルデータ」と定義し、どのように取り扱っているのかをわかりやすく示したのが、このプライバシーセンターです。
私たちはパーソナルデータを適正に管理することにより、皆さまからの信頼にお応えするよう努めてまいります。



「TBS プライバシーセンターHP」より<https://www.tbs.co.jp/privacy/>

[適用関係図]



TBSグループキャラクター

TBSテレビ、TBSラジオ、BS-TBSなど、TBSグループを横断する初のキャラクター「ワクティ」が誕生。
TBSグループのブランディング展開のアイコンとしてグループの結びつきを強化します。



一人一人のときめきから生まれたみんなの「ワクワク粒子」が世界中から集まって誕生したキャラクター。
スカーフの角度は23.4度。地球の地軸の角度を意識し、国境・人種を超えて、世界中の人々とコミュニケーションしたいという思いを込めています。



<p>【生まれた場所】 多くのワクワクが生まれる、赤坂・TBSの上空。</p>		
<p>【特技】 ワクワク粒子でなんでも作り出せます。</p>		<p>【座右の銘】 ワクワクは「粹」を超える!</p>
<p>【こだわり】 動きのあるエアリーなヘアスタイル。</p>	<p>【悩み】 見た目が雲っぽいので内面も曇っていると思われがちなこと。</p>	<p>でも心はいつも晴れやかです!</p>

2024年度 第1四半期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

▶ **参考資料**

連結貸借対照表

	2024年 3月末	2024年 6月末	比較		2024年 3月末	2024年 6月末	比較	単位: 百万円
流動資産	154,399	147,797	△6,602	流動負債	94,993	82,658	△12,335	
				固定負債	322,564	308,931	△13,632	
				負債合計	417,557	391,589	△25,967	
固定資産	1,413,105	1,370,619	△42,485	自己資本	1,137,659	1,113,951	△23,708	
				非支配株主持分	12,287	12,875	+587	
				純資産合計	1,149,947	1,126,826	△23,120	
資産合計	1,567,504	1,518,416	△49,088	負債 純資産 合計	1,567,504	1,518,416	△49,088	

四半期末有利子負債残高 36億円 (前期末比 △1億円)

※ リース債務は除く

新ファミリーコア視聴率（4～49歳）

(※ []内は前年差 単位：%)

	全 日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	③1.3[△0.2]	②2.9 [△0.1]	②2.8 [△0.1]	③0.9 [△0.2]
日本テレビ	①2.3	①4.1	①3.8	①1.9
テレビ朝日	④1.0	④1.8	④1.9	④0.8
テレビ東京	⑥0.4	⑤1.2	⑤1.1	⑥0.2
フジテレビ	②1.6	③2.8	③2.6	②1.3
NHK	⑤0.6	⑤1.2	⑤1.1	⑤0.4
PUT	8.3[△0.7]	15.6 [△1.3]	14.6[△1.4]	6.4 [△0.6]

(2024/4/1～2024/6/30：週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

個人全体視聴率 (ALL)

(※ []内は前年差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	③2.6[0.0]	④4.2 [+0.1]	④4.0 [0.0]	③2.2 [0.0]
日本テレビ	②3.2	①5.1	②4.7	②2.8
テレビ朝日	①3.4	②5.0	①5.0	①2.9
テレビ東京	⑥1.1	⑥3.0	⑥2.6	⑥0.7
フジテレビ	⑤2.2	⑤3.3	⑤3.3	⑤1.9
NHK	③2.6	③4.8	③4.1	③2.2
PUT	18.1[△0.5]	30.0 [△0.9]	27.9[△1.0]	15.3 [△0.3]

(2024/4/1 ~ 2024/6/30 : 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

タイム・スポット収入対前年比

単位：
百万円

	タイム			スポット				備考
	2024年度	前年差	増減率	2024年度	前年差	増減率	地区投下 (推計)	
4月	6,890	△339	△4.7%	7,100	△100	△1.4%	△1.5%	
5月	6,408	+27	+0.4%	6,350	△138	△2.1%	△1.4%	
6月	6,988	+933	+15.4%	6,061	+109	+1.8%	+3.2%	タイムは、「バレーボールネーションズリーグ」で、増収。
7月								
8月								
9月								
10月								
11月								
12月								
1月								
2月								
3月								
1Q	20,287	+621	+3.2%	19,512	△129	△0.7%	△0.1%	
2Q								
3Q								
4Q								
通期	20,287	+621	+3.2%	19,512	△129	△0.7%	△0.1%	

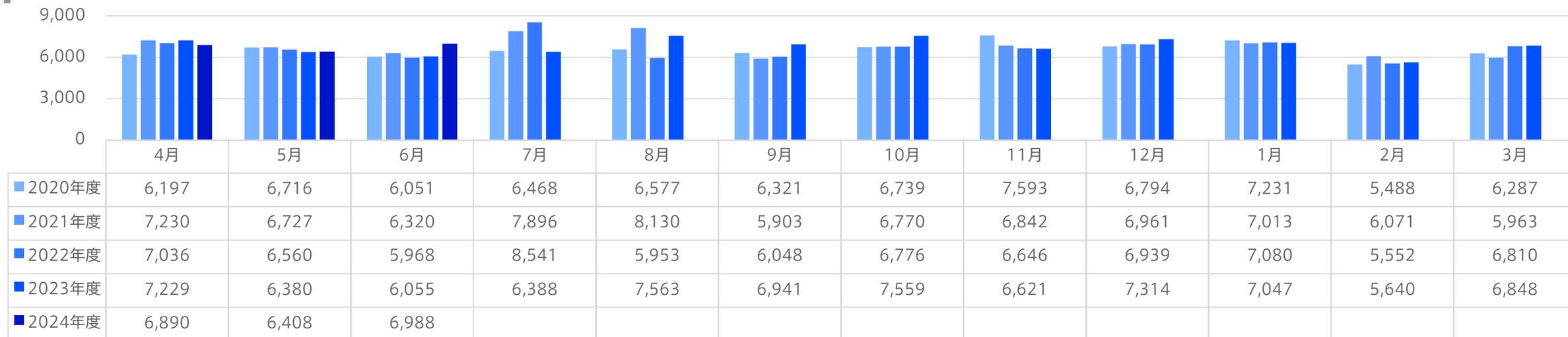
スポット5局シェア (推計) 四半期推移

2020年度 19.7% (累計)				2021年度 20.1% (累計)				2022年度 20.6% (累計)				2023年度 20.5% (累計)				2024年度 20.8% (累計)			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q												
20.5	20.2	19.4	19.3	20.4	20.3	19.7	20.0	21.2	20.6	20.9	19.6	20.9	20.6	20.2	20.1	20.8			

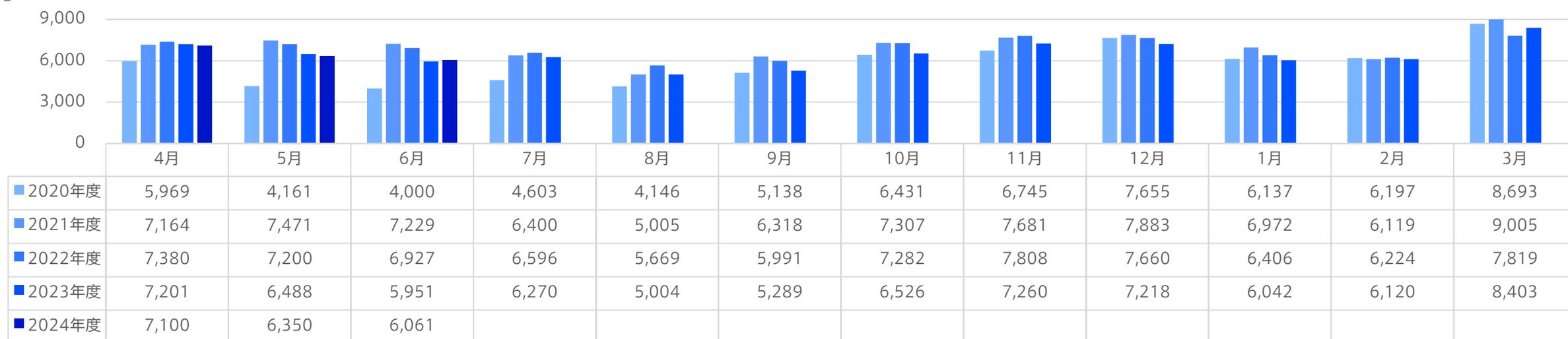
タイム・スポット収入 経年推移

タイム収入

単位：百万円



スポット収入



業種別スポット売上順位

単位：%

	2024年度 1Q (4-6月)	増減率	シェア	2023年度 1Q (4-6月)	増減率	シェア
1	情報・通信・放送	△17.7	13.8	情報・通信・放送	△1.0	16.6
2	酒・飲料	+7.7	13.7	酒・飲料	△15.9	12.7
3	食品	+13.5	10.2	食品	△13.8	9.0
4	外食・サービス	+14.8	7.6	医薬品	△8.8	7.6
5	交通・レジャー	+3.2	7.1	交通・レジャー	+34.9	6.8
6	化粧品・トイレットリー	+23.1	7.1	外食・サービス	△30.5	6.6
7	医薬品	△11.8	6.7	化粧品・トイレットリー	+18.8	5.7
8	金融	△1.2	5.2	金融	△5.8	5.3
9	自動車・輸送機器	+22.2	4.3	エンターテインメント・趣味	△1.9	4.4
10	不動産・建設	+27.8	4.1	自動車・輸送機器	+38.7	3.5

※ 順位は金額順

メディア・コンテンツ/不動産・その他(1社)

(株) TBSテレビ

メディア・コンテンツ(15社)

(株) TBSラジオ

(株) BS-TBS

(株) CS-TBS

(株) TBSスパークル

(株) TBSグローディア

(株) TBSアクト

(株) Seven Arcs

TCエンタテインメント (株)

TBS International, Inc.

(株) TBSメディア総合研究所

(株) 日音

(株) マンガボックス

(株) THE SEVEN

Bellon Entertainment Inc.

TOKYO BROADCASTING SYSTEM KOREA, INC.

ライフスタイル(6社)

(株) スタイルングライフ・ホールディングス

(株) CPコスメティクス

(株) やる気スイッチグループホールディングス

(株) やる気スイッチグループ

(株) やる気スイッチキャリア

(株) YPスイッチ

不動産・その他(5社)

赤坂熱供給 (株)

(株) TBS企画

(株) TBSサンワーク

(株) TBSヘクサ

(株) 緑山スタジオ・シティ

持分法適用(6社)

(株) リトプラ

(株) WOWOW

(株) Amazing Sports Lab Japan

(株) YGC

(株) U-NEXT

台湾拓人教育事業股份有限公司